

支倉常長フェロー報告書

提出日 2010 年 7 月 5 日



申請者	氏名	今井 淳太
	所属・職	糖尿病代謝科・講師
出張期間	2010年 6 月 24 日 ~ 7 月 1 日	
渡航先	アメリカ フロリダ州 オーランド	
渡航目的	学会参加・共同研究のための留学・()	
発表演題名あるいは共同研究課題名	Interleukin-6 Enhances Glucose-Stimulated Insulin Secretion from Pancreatic β -cells through the PLC-IP ₃ -Dependent Pathway	
得られた成果など	<p>2010年6月25日から6月29日にかけてアメリカ・フロリダ州・オーランドのオレンジカントリーコンベンションセンターにて行われた第70回アメリカ糖尿病学会(ADA)に参加した。</p> <p>インターロイキン6 (IL-6)の膵β細胞からのインスリン分泌における作用については、これまで相反する報告がなされるなど明らかでない点が多かったが、今回我々は、IL-6が <i>in vivo</i>, <i>ex vivo</i>, <i>in vitro</i> いずれの系においてもグルコース応答性インスリン分泌を亢進することを証明し、さらにそのインスリン分泌増強作用はフォスホオリパーゼ C (PLC)経路を介していることを世界で初めて明らかにして報告した。</p> <p>演題はポスター発表での採択であったが、ポスター発表演題の中でさらに Guided Audio Poster Tours の演題に採択された(写真)。これはヘッドホンを装着した Tour への参加者に対して、マイクを使用して5分程度で自分の演題についてのプレゼンテーションを行い、さらに座長と演題についての discussion を行うというものである。この discussion の場において、海外や日本の研究者数名から大変興味深い研究結果である旨、実験手法についてもよく検討されており、結果は信頼できるものであると思う旨のコメントをいただいた。またこの結果の生理的な意義についての考察を求められ、肥満状態における高インスリン血症への関与の可能性などについて議論を行った。英語の修練にもなり、大変刺激的で有意義な学会参加となったと考える。</p>	

- ※ 帰国後 10 日以内に報告書を提出してください。HP に掲載することがあります。
- ※ 可能であれば顔写真、学会風景写真を添付してください。
- ※ 用紙が不足する場合は、適宜加えてください。